

◆検討会の進め方

- ・ 検討会では、まず2050年の社会の姿がどのようなになっているか（あるいはどのような社会になっていることが望ましいか）を整理します。
- ・ 2050年の社会の姿に対して、上下水道はどのような姿であるべきか（ありたいか）について議論いただきたいと考えています。
- ・ 2050年の上下水道のあるべき（ありたい）姿に対して、今後10年程度の上下水道政策の基本的な方向性について、議論いただきたいと考えています。

◆各回での検討の進め方

1. 中間とりまとめまで

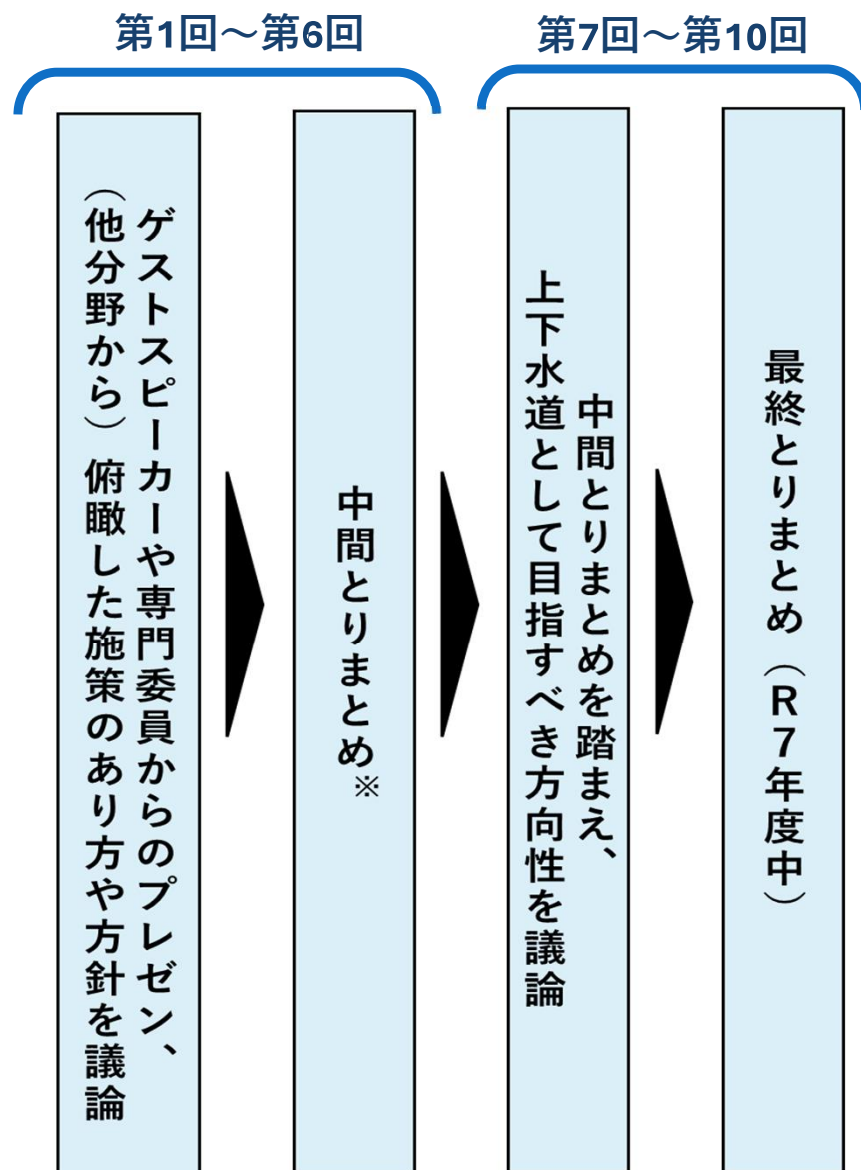
- ・ 第1、2回では、事務局より、2050年の社会の姿と上下水道の現状、また今後の上下水道に関する論点を提示します。委員からご意見をいただき、追加・修正を検討します。
- ・ 第3～5回では、主に上下水道専門以外の委員やゲストスピーカーより、それぞれの専門的見地からお話をいただきます。いただいたお話や検討会での議論を通じて、上下水道のあるべき（ありたい）姿の追加・修正を行うとともに、今後10年程度の上下水道政策の方向性についても整理していきます。
- ・ 同じく第5回では、第1～4回までの議論をふまえ、2050年の上下水道のあるべき（ありたい）姿と今後10年程度の政策の方向性について中間とりまとめ骨子を提示します。
- ・ 第6回では、第5回検討会での議論等をふまえた中間とりまとめ案を提示します。第6回での議論をふまえ、修正したものを中間とりまとめとして公表予定です。

2. 中間とりまとめ後

- ・ 第7回以降は、今後10年程度の上下水道政策の基本的な方向性について議論を重ね、内容の充実を行う予定です（必要に応じて中間とりまとめで整理した上下水道のあるべき（ありたい）姿の見直しを行います）。
- ・ 第7回以降は、各回ごとにテーマを決めて議論する、あるいは上下水道に携わる委員やゲストスピーカーからお話をいただくことなどを想定していますが、具体的な進め方については、中間とりまとめの前後において改めてお諮りしたいと考えています。
- ・ 第7回以降の議論を踏まえ、最終とりまとめを行います。

上下水道政策の基本的なあり方検討会の進め方について

検討会の全体的なイメージ



※ 第6回までに中間とりまとめ

当面のスケジュール(案)

○第1回（R6年11月）

- ・設置趣旨について
- ・検討会の進め方について
- ・2050年の姿と今後の上下水道に関する論点について
- ・意見交換

○第2回（R7年1月）

- ・上下水道の現状と課題
- ・意見交換

○第3回（R7年2月）～第4回（R7年4月）

- ・ゲストスピーカーや委員からのプレゼン
- ・意見交換

○第5回（R7年5月）

- ・ゲストスピーカーや委員からのプレゼン
- ・中間とりまとめ骨子
- ・意見交換

○第6回（R7年6月）

- ・中間とりまとめ（案）
- ・意見交換

上下水道政策の基本的なあり方検討会の進め方について

◆委員、ゲストスピーカーからの発表のテーマ（イメージ）

- ・ 河川・水循環、防災（地震）、まちづくり、住宅、地域公共交通、建設業（働き方改革等）、電気・ガス・鉄道・通信、海外の上下水道運営、国際展開、ＩＴ・ＤＸ など
- ・ 水道、下水道、上下水道一体、経営基盤の強化 など

◆水道ビジョン・下水道ビジョンとの関係

- ・ 現行の水道ビジョン、下水道ビジョンでは、政策の方向性のほか、実現のための具体的な施策や国、事業体、民間等の役割分担等を提示。今回の検討会では、主に上下水道の政策の基本的な方向性を重点的に議論することを予定。